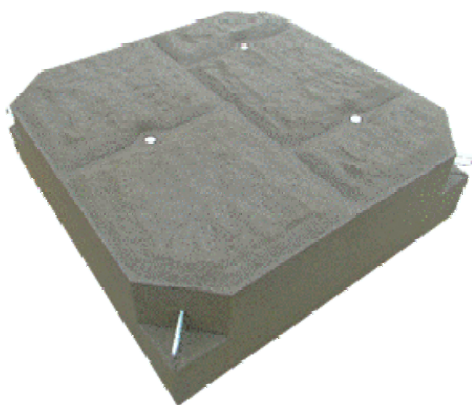


ロックルII型

間知ブロック張工のプレキャスト製品



種別	登録技術	適用工種 (キーワード)	LEVEL1	河川海岸	キーワード	品質向上	
	番号		C1901	LEVEL2		多自然型護岸工	安全性向上
区分	製品		LEVEL3	ブロック積(張)工		環境負荷低減	○
			LEVEL4			コスト縮減	
従来工法		間知ブロック張護岸工				リサイクル性向上	○
技術の概要		<p>・従来の間知ブロック張りは、緩勾配施工時に胴込めコンクリート打設が困難で又、ブロックが小型のため施工日数が長期間必要あったが、本製品はブロック自体が控え厚さ35cmで胴込めコンクリートが必要なく、1.0m²/個と大型であるために大幅に工期を短縮することが可能</p> <p>・明度が6以下で、製品表面は擬石模様としているため、自然景観に馴染みやすい。</p> <p>・ブロックの規格は、全体厚さ35cmの350型と板厚さ35cmの385型の2種類。</p> <p>・圧縮強度18N/mm²以上で全空隙率15%以上を有したポーラスコンクリート仕様の製品もあり、表面にコケ・藻類等の植生が期待できる。</p> <p>・専用の施工用吊り金具を使用して設置し、ブロック相互は連結金具で連結させる。</p>					
単価・歩掛	設定	○	「建設工事積算基準第15編単価」「公共工事設計資材単価(HP)」				
	参考	—	—				
実績	H29	7件	江の川都賀西地区第2護岸工事 (国土交通省浜田河川国道事務所)				
	H30	7件	平成29年度塩冶赤川県単河川緊急整備工事第5期 (島根県出雲県土整備事務所)				
	R1	7件	国道432号郡2工区社会資本整備総合交付金(改築)工事第1期 (雲南県土整備事務所)				
他機関評価		—					
問合せ先	会社名	(株)イズコン					
	TEL	0853-23-2633					
	E-mail	m_mishiro@izcon.co.jp					
技術のURL		https://izcon.jp/product/product_kankyohozen/%e3%83%ad%e3%83%83%e3%82%af%e3%83%ab/					